

平成 27 年 9 月 6 日

調 査 研 修 報 告 書 (議 員 用)

報告者：吉 方 明 美

実施場所：和田山ジュピターホール	実施日：9月5日～9月5日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 地域包括ケアシステムの策定と、それに沿ったケアマネジメントが求められている。 しかし、国の言うこの制度は、いざ利用するとなると課題が多い。 先進地と言われている朝来市においての地域ケア会議の実態を知るために参加した。</p>	
<p>■参考とすべき事項 参加者のほとんどがプロのケアマネジャーであった。 模擬のケアマネジメント会議を見たが、あまりにも専門的すぎて理解ができなかった。 しかし、ひとりの利用者のために、いろいろな立場の人（専門家）が集まり、会議を開き 利用者の生い立ち、地域とかかわっておられる状況、家族・親戚との関係などの情報を交 換し合う様子を見た。 大変な仕事であることを認識した。</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 地域包括ケアのシステムは理想的ではあるが、現実的ではない。 ひとり暮らしの高齢者を支えるために「住み慣れた場所で、自分らしく生きる」ことをサ ポートすることができるのだろうか。 これから10年後を見据えた高齢者対策は、この制度では行き詰ると考える。 帰る家に家族がいることを前提としているが、支えてくれる家族がいない高齢者が増える ものと考えられる。 支えられる側も、希望通りの生活はできないことも共通認識として持つべきではないだろ うか。</p>	